

明治150年記念

真明解

明治美術

増殖する新メディア

―神奈川県立博物館50年の精華―

2018
8/4[土]
↓
9/30[日]

会期中、一部展示替えを予定しております。



神奈川県立歴史博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【開館時間】 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【休館日】 毎週月曜日（ただし9月17日、24日は開館）
【観覧料】 一般900円（800円）、20歳未満・学生600円（500円）、
65歳以上200円（150円）、高校生100円
※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料、（ ）は20名以上の団体料金
※他の神奈川県立博物館等の有料観覧券の半券提示による割引制度あり
【交 通】 みなとみらい線「馬車道駅」5番出口から徒歩1分
市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分
JR「桜木町駅」「関内駅」からいずれも徒歩8分
〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60
TEL：045-201-0926 FAX：045-201-7364
http://ch.kanagawa-museum.jp/

主催：神奈川県立歴史博物館
助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団
協力：株式会社セリク
東海大学課程資格教育センター＋教養学部芸術学科＋松前記念館
後援：明治美術学会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局
読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局
日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局
NHK 横浜放送局、+tvk(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMエフマル



①



【関連行事】

■入門講座■ 事前申込制（申込多数の場合は抽選）
「明治美術の魅力」
特別展担当学芸員が入門講座として明治美術の魅力を分かりやすく体系的に解説します。
講師：角田拓朗（当館主任学芸員）
日時：8月18日（土） 14時～16時 / 会場：当館講堂 / 定員：70名
受講料：無料（ただし、当日の特別展観覧券が必要）
申込締切：7月20日（金）必着

■県博セミナー「連続講座 全4回」■ 事前申込制（申込多数の場合は抽選）
明治の美術についてそれぞれの専門的立場に基づき、多様な視点で論じます。
「明治美術とその周辺」
8月19日（日）「明治美術、近世との距離」三宅秀和氏（群馬県立女子大学 専任講師）
8月26日（日）「美術教育の黎明＝明治」赤木里香子氏（岡山大学大学院 教授）
9月9日（日）「非「美術」から見る明治時代」依田敬氏（遠山記念館 学芸課長）
9月16日（日）「技法材料から見る明治の日本画」荒井経氏（東京藝術大学大学院 教授）
時間：14時～16時 / 会場：当館講堂
定員：各回70名（1回ごとの申込みも受け付けますが、連続講座のため、全4回お申込みの方を優先します。） / 受講料：各回1,000円
申込締切：7月20日（金）必着

■夏休み子ども向けイベント■ 申込不要
「明治タイムトラベル！」
（神奈川県博 × 東海大学課程資格教育センター・教養学部芸術学科美術課程連携プロジェクト）東海大学生スタッフによるアドバイスを受けながら、各種の造形活動やクイズを通して、明治時代の文化や美術に親しむワークショップです。
講師：河野孝博氏（東海大学 教授）
篠原聡氏（東海大学 准教授）
対象：小学生～中学生とその保護者、および一般の希望者
日時：8月11日（土・祝）、12日（日）、25日（土）、26日（日）
各回10時～16時30分
会場：当館1階会議室 / 定員：なし、出入自由
参加料：無料（ただし、高校生以上は当日の特別展観覧券が必要です）

■大人向け■ 事前申込制（申込多数の場合は抽選）
夜の鑑賞会
閉館後の落ち着いた展示室で特別展担当学芸員が解説します。
日時：①8月10日（金）、②8月31日（金）、③9月28日（金）
④17時15分～18時15分 ⑤18時30分～19時30分
会場：特別展会場 / 定員：各回30名（入替制）
受講料：無料（開館中とは別に、特別展観覧券が必要）
申込締切：①7月20日（金）、②8月10日（金）、③9月2日（日）必着

■シンポジウム■ 事前申込制（申込多数の場合は抽選）
「ワークショップを考える」
パネリスト：山口健二氏（岡山大学）広瀬浩二郎氏（国立民族学博物館）
篠原聡氏（東海大学）
日時：8月25日（土） 10時～12時30分
会場：当館講堂 / 定員：70名
受講料：無料（ただし、当日の特別展観覧券が必要）
申込締切：8月10日（金）必着

■特別演舞■ 事前申込制（申込多数の場合は抽選）
「明治を踊る、明治を語る」
舞踊を鑑賞して明治のお座敷を追体験。あわせて、日本画家鎌木清方の芸術世界を導き手に、明治文化を紐解く鼎談をおこないます。
講師：中千尋氏（日本画家、日本舞踊師範）
今西彩子氏（鎌倉市鎌木清方記念美術館 学芸員）
角田拓朗（当館主任学芸員）
日時：9月24日（月・振休） 14時～16時
会場：当館講堂 / 定員：70名
受講料：無料（ただし、当日の特別展観覧券が必要）
申込締切：9月2日（日）必着

■学芸員による展示解説■ 申込不要
⑩13:30～ ⑩10:30～ 30分程度
前期：8月4日（土）⑩、12日（日）⑩、25日（土）⑩、9月2日（日）⑩
後期：9月9日（日）⑩、17日（月・祝）⑩、23日（日）⑩、29日（土）⑩
会場：特別展会場

本展はスマートフォンアプリによる展示解説も実施します。



申込方法：「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・行事名（複数回ある行事は希望回）を明記のうえ、当館へお送り下さい。ホームページの「催し物案内」からもお申し込みいただけます。
1通で複数名申し込みする場合は、全員分の氏名を明記してください（1つの催しにつき1通でお申し込み下さい）。
宛 先：神奈川県立歴史博物館 企画普及課
申込先：〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60
http://ch.kanagawa-museum.jp/

次回特別展のご案内

鎌倉ゆかりの芸能と儀礼

鎌倉坂ノ下・御霊神社の面掛行列など神奈川県域に伝わる祭礼や芸能をとりあげ、中世の宗教儀礼とのつながりや、信仰がどのように継承されてきたのかを考えます。

10月27日（土）～12月9日（日）



明治150年記念

真明解

明治美術

増殖する新メディア — 神奈川県立博物館50年の精華 —

序 明治美術の精華

五姓田義松 老母図 当館（表紙右）
初代宮川香山 高浮彫牡丹二眠猫覚醒蓋付水指
田邊哲人コレクション（表紙左）
大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖 当館寄託 ①
横山松三郎 旧江戸城写真 当館

第1章 写真と写実—二次元の挑戦—

明治天皇肖像写真 クリスチャン・ボラックコレクション ②
奥原晴湖 山水図 坂東郷土館ミュージズ ③
川端玉章 函嶺景巻 個人 ④
高橋由一 江の島図 神奈川県立近代美術館 ⑤
五姓田義松 海岸風景 個人
平福百穂 草画帖 個人

第2章 見世物から工芸へ—三次元の挑戦—

写真アルバムカバー クリスチャン・ボラックコレクション ⑥
初代安本亀入 松本順生人形 大磯町郷土資料館 ⑦
見世物興業チラシ 相模原市立博物館
二世五姓田芳柳 日露戦争南山大激戦パノラマ館内部写真 坂東郷土館ミュージズ

第3章 版と刷—印刷革命の鼓動—

三代歌川広重 下絵画稿集 当館
HIPPOCRATES
神奈川県立近代美術館 青木文庫 ⑧
『国華余芳 正倉院御物』 杜若文庫 ⑨
『朝陽閣鑑賞』 杜若文庫 ⑩
岩橋教章『測絵図譜』 杜若文庫（表紙上）
鮮齋泳濯挿絵『舌切り雀』（仏文版）
クリスチャン・ボラックコレクション ⑪

結 「美術」確立の舞台裏

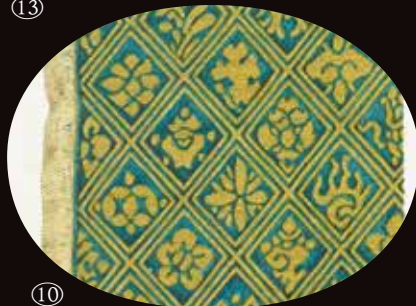
下村観山 日本美術史ノート 当館
柳源吉『画遊席珍』 当館
『国華』合冊表紙 個人 ⑫
『小学習画帖』 岡山大学
『臨画帖』 岡山大学 ⑬



⑫



⑬



⑩



⑪



⑧



⑨

明治の美術の魅力を語ろう。それは、大きな希望といってよい。

そして、その希望の足元にあったのは、大きな荒廃だった。19世紀となり、世界史的にも大きな変動を経験していく。そのさなかであって、江戸幕府は制度的に限界を迎え、新たな統治体制が希求された。その望みの具体的なあらわれとして1867年に大政奉還が行われ、翌1868年に新たな希望の時代の幕開けの宣言として、「明治」という元号に改められたのである。もちろん以上のように単純に割り切れることばかりではなかったが、しかし、そのような混沌とした時代状況だったからこそ、なおさらに強く希望を抱き、時代を切り拓こうと試みた人間が多かった。そのような試みは、政治経済の世界にとどまらず、美術の世界も同様だった。明治の美術をひとまとめに論じることは無謀だが、しかし、特にその前半期の営みに総じて込められているのは、新時代への強い希望であり、また新メディアを駆使することへの憧れや喜びだといえる。

本展覧会では、特に幕末から明治前半期の「美術」という営みに注目し、名品優品を紹介しつつ、その時代の力強さや多様性に迫る。西洋に追いつき、追い越そうとした作家たちの苦闘。成功や挫折の痕跡を、作品や資料から具体的に示す。この考察にあたり、メディア＝作品のかたちを切り口として、絵画・立体・印刷の三点を据え、それをまた展示の柱とする。各ジャンルがクロスオーバーしながら、明治という時代相が浮き上がることを期待しよう。

神奈川県立歴史博物館は、前身である県立博物館が1967年に開館して以来、50年間にわたり、横浜に立地することから近代美術の調査研究ならびに収集保管を継続してきた。近年では特別展として「横浜・東京—明治の輸出陶磁器」「没後100年 五姓田義松—最後の天才—」を開催、またそのほか関連する近代美術の作品や資料を数多くご恵贈いただいた。本展覧会にならぶ作品の多くが以上の活動のまさに精華である。明治150年を記念するこの年に本展を開催し、これからの美術の営みを含め、また新たな時代への希望のあかりを灯そう。



④



⑦



③



⑤



②



⑥

真明解 治美術

明治 150 年記念

真明解・明治美術

増殖する新メディア

— 神奈川県立博物館 50年の精華 —

8/4²⁰¹⁸[土] - 9/30[日]

会期中、一部展示替えを予定しております。



神奈川県立歴史博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【開館時間】 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

【休館日】 毎週月曜日（ただし 9 月 17 日、24 日は開館）

【観覧料】 一般 900 円（800 円）・20 歳未満・学生 600 円（500 円）

65 歳以上 200 円（150 円）・高校生 100 円

※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料（ ）は 20 名以上の団体料金

※半券提示により、割引制度あり

【交通】 みなとみらい線「馬車道駅」5 番出口から徒歩 1 分

市営地下鉄「関内駅」9 番出口から徒歩 5 分

JR「桜木町駅」「関内駅」からいずれも徒歩 8 分

〒231-0006 横浜市中区南仲通 5-60

TEL：045-201-0926 FAX：045-201-7364

<http://ch.kanagawa-museum.jp/>

主催：神奈川県立歴史博物館

助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団

協力：株式会社セリク、東海大学課程資格教育センター + 教養学部芸術学科 + 松前記念館

後援：明治美術学会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局

東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局

tvk(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ





橋本雅邦 双竜図屏風（右隻） 当館

真明解 明治美術

明治の美術の魅力、それはみなぎるパワーといえます。新しい時代への希望、西洋への憧憬、いずれの作品にも強い思いがあり、表現へと結実しています。明治 150 年を記念して開催する本展は、それら数多の作品を時代の意思を伝えるメディアと捉え、読み解き、皆様にご紹介します。本展は、同時に、県立博物館以来50年の当館近代美術コレクションを総覧する機会でもあります。その精華を、心ゆくまでご堪能ください。



横山松三郎 旧江戸城写真「二重橋」 当館



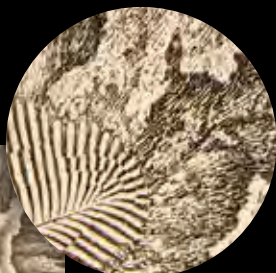
初代五姓田芳柳 明治天皇・皇后肖像 当館



海野勝眠
シガレットケース
当館

【展示構成】

- プロローグ ―明治美術の精華―
- 第1章 写真と写実―二次元の挑戦―
- 第2章 見世物から工芸へ―三次元の挑戦―
- 第3章 版と刷―印刷革命の鼓動―
- エピローグ 「美術」確立の舞台裏



岩橋教章
『測絵図譜』(部分) 当館



太田節次 角力遊 当館



関連行事

入門講座 「明治美術の魅力」

日時：8月18日(土) 午後2時～午後4時
会場：当館講堂
講師：角田拓朗（当館主任学芸員）

当館営業部長
(かみ)
パンチの守



【その他イベント盛りだくさん！申込方法は6月以降、ホームページにてご案内いたします。】



表左：牡丹に眠猫覚醒蓋付水指 田邊哲人コレクション
表右下：老母図 五姓田義松

大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖 個人蔵 当館寄託